

令和5年度 第2回理事会議事録

1. 日時及び場所 令和5年12月8日(金) 午前11:30~11:50
オンライン会議 Zoom ミーティング ID: 822 2476 8216

1. 理事総数 13名
出席理事数 10名 遊橋裕泰、渋谷雄、長谷川旭、藤田美幸
(委任状出席: 小川哲司、川野常夫、大門 樹、丁井雅美、
古川 宏、村田和義、)
欠席理事数 3名 大森 正子、小張敬之、長谷川聡

監事: (委任状: 伊藤肇) 欠席監事: 松沼正平 事務局: 都築

1. 審議事項 議案 2024年次大会の件
議案 インボイスに伴う価格変更の件
その他

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事 10 名が出席したので、理事 遊橋裕泰が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議題 年次大会の件

スマートライフ学会2024年大会について担当理事 遊橋裕泰より、企画について説明がなされた。

開催日時は2024年3月16日土曜日、会場は神戸女子大学(三宮キャンパス)とし、オフライン開催とする。テーマは「ウェルビーイングを実現するスマートライフ」、テーマに合わせて、加古川市の杉野賢司氏に講演を依頼する。

続いて、学術奨励賞と同時投稿については、筆頭著者が会員であることを条件とする。スケジュールは前回とほぼ同じ。

これらの内容について、議長が議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議題 インボイスに伴う価格変更の件

インボイス制度の導入に伴い、年会費をはじめ参加費や出版物等の価格に対して、課税分を増額することについて、議長が議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

その他

次回の総会で、理事の改選が予定されている。2年の任期が切れる理事については、継

続するようにご検討いただきたいと議長よりアナウンスがあった。

また、旧学会から継続使用のドメインなどの整理をしたいと担当理事 長谷川旭から提案があり、これを議場に諮ったところ、全員意義なく承諾した。今後は、事務局と連絡をとりながら進めていくこととなった。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、議事録署名人として、理事 渋谷雄と理事 藤田美幸の 2 名を選任したいとの提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、11 時 50 分に閉会した。以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名押印する。

令和 5 年 12 月 8 日

特定非営利活動法人スマートライフ学会

議長： 遊橋裕泰

議事録署名人： 渋谷雄

議事録署名人： 藤田美幸

令和5年度 第2回理事・企画委員会に欠席致します

委任状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年 11月 30日 氏名：村田和義

委任状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年 11月 30日 氏名：丁井雅美

令和5年度 第2回理事・企画委員会に欠席致します

委任状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年 12月 3日 氏名：川野常夫

令和5年度 第2回理事・企画委員会に欠席致します

委任状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年 12月 4日 氏名：大門樹

令和5年度 第2回理事・企画委員会に欠席致します

委任状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年 12月 4日 氏名：小川哲司

令和5年度 第2回理事・企画委員会に欠席致します

委 任 状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年 12月 2日 氏名：伊藤 肇

令和5年度 第2回理事・企画委員会に欠席致します

委 任 状

令和5年度第2回理事会の議決権を議長に一任いたします。
令和5年12月1日 氏名：古川 宏

スマートライフ学会 2024 年大会企画書

情報通信技術（ICT）が高度に発展し、スマートライフを享受できる時代が目前に迫っています。その一方、人類はこれまでに経験してこなかった数多くの課題に直面しています。

私たちがいま取り組むべき課題の一つとして、「ウェルビーイング」があります。ウェルビーイングとは身体的・精神的に良好な状態にあることであり、それを社会としていかに実現していくのかが問われています。心と体と社会の新たな関係を、情報通信技術（ICT）でどのように支えていけば良いのか。その先に、市民の幸福感を高めるスマートシティは実現できるのか。2024 年大会では、「ウェルビーイングを実現するスマートライフ」をテーマに皆様と考えていきたいと思えます。

2024 年大会は、神戸女子大学（三宮キャンパス）にて対面で開催地します。また、スマートライフに関わる研究/事例発表、実演・展示を広く募集いたします。皆様方の多くのご参加をお待ちしております。

日時：2024 年 3 月 16 日（土）

会場：神戸女子大学三宮キャンパス（兵庫県神戸市中央区中山手通 2-23-1）

<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/access/sannomiya.html>

主催：特定非営利活動法人スマートライフ学会

大会長：遊橋 裕泰（静岡大学）

1. 基調講演

先駆的なスマートシティ実践自治体からスピーカーをお招きし、ウェルビーイングに資する取り組みをご紹介します（基調講演は無料一般公開）。

杉野賢司 氏（加古川市_企画部_政策企画課・副課長）

2. 大会参加費

一般 11,000 円（税込み）

学生 5,500 円（税込み）

研究/事例発表の申込み、奨励賞のエントリー、学会誌への投稿は、学会員のみ対象です。参加申込とあわせてスマートライフ学会へ同時入会される場合、正会員は 5,500 円（税込み）と学生会員は 3,300 円（税込み）を追加購入していただくと年会費は免除になります。

※ 基調の聴講は、無料公開いたします。

3. 研究/事例発表される方へ

(1) スケジュール

発表申込み締め切り：2024年1月25日（木）

論文原稿締め切り：2024年3月1日（金）

(2) 発表テーマ

スマートライフ学会は、スマート社会の抱える諸課題に対して ICT 等の新技術を活用することにより、持続可能な社会を実現しようとしています。このことについて、幅広く研究/事例発表を募集します。

分野例：ICT を利用した各種支援やサービス提供、地域・コミュニティ、防災・災害対応、ユーザビリティ、心理的・生理的影響、ドローン、アプリケーション開発、教育支援、行動支援、地域社会・コミュニティ応用、ヘルスケア・医療・救命救急、ヒューマンインタフェース、視認性・利用性評価、心理・生理・身体的影響、IoT、AI、ビッグデータ、車載情報サービス、自動運転、アプリケーション開発・技術、国際比較、セキュリティ、コンテンツビジネスなど。

(3) 発表

研究/事例発表は、口頭発表形式でおこなってもらいます。1発表は、15分（講演時間：12分，質疑応答時間：3分）を予定しています。

(4) 学会誌への同時投稿

研究/事例の論文原稿をそのまま「スマートライフ学会誌」の査読付き論文として投稿頂ける「同時投稿」を実施しております。ただし、筆頭著者がスマートライフ学会員であることが必要です。大会終了後に規定に基づき審査を行います。審査期間は審査内容によって異なります。投稿料は無料ですが、採録が認められた場合の論文掲載料が別途必要です。

(6) 学術奨励賞

未来を担う若手研究者のさらなる発展を後押しするため、学術奨励賞を設けています。エントリーをお待ちしております。

※対象者：表彰時点で『スマートライフ学会の正会員または学生会員』かつ『2023年12月31日時点で40歳未満』である『筆頭著者』

以上